

実相院コンサート

2024年4月13日[土]

14:00開演 (13:30開場)

会場 実相院

実相院コンサートは、お寺をより身近に感じて頂くため、本堂を会場として続けている演奏会です。今回は久しぶりのジャズ!新しい音楽との出会いが、皆様の活力となり、明日への希望につながりますように。

# ジャズ・トリオ・ライブ

宅間善之 ビブラフォン

廣瀬みちる ピアノ

山本裕之 ベース



## 入場料

中学生以上 2000円

中学生未満 1000円

\*小学生未満のお子さんが座席を使用せず保護者の膝上で鑑賞する場合は、入場料は無料です

チケットは3月1日の午前10時から  
実相院で発売いたします  
定員(100名)に達し次第、販売終了

東京都中野区沼袋4-1-1 実相院  
電話 03-3386-2472

\*やむを得ない事情により曲目等が変更となる場合があります

実相院  
コンサート

主催:実相院



## ▼プログラム

On the Sunny Side of the Street

Take Five

ルパン3世のテーマ 他



## 宅間善之（ビブラフォン） Yoshiyuki Takuma

幼少の頃よりマリimba奏者である父の影響を受けマリimbaを始め。高校在学中よりジャズに興味を持ち、マリimbaと並行してビブラフォンを始め、ジャズ理論を村井秀清に師事。高校卒業後、アメリカのパークリー音楽院に留学。在学中にピアニスト上原ひろみと共演する他、多数のコンサート、ライブ、レコーディングセッションを行う。帰国後、実弟政彰との「MALLET×PIT」や自己のグループ「Vibrasonic」を結成し活動。CDに『diario〜ディアリーオ〜』、ライブDVD『宅間善之 Vibrasonic』等がある。近年はラテンジャズの「Wu-Xing」、ジャズの「Kiss the Cats」「Mr. Jazz Quartet」のレギュラーメンバーとしても活動。これまでに、グラミー賞受賞のピアニスト・編曲家のデビッド・マッシュューズ、オカリナ奏者宗次郎と競演する他、女優渡辺えりのコンサートツアーに参加するなど、多方面で活躍している。

## 廣瀬みちる（ピアノ） Michiru Hirose

教会オルガニストの母親の影響で、幼い頃からクラシックピアノを学ぶ。ジャズピアノを板橋文夫、越智健二に師事。2012年、フルート、チェロ、ピアノの女性三人からなるユニット「マナカナミチル」を結成。オリジナル曲を収録したCD『音の物語』を発売。2013年、ボサノバユニット「東京女子BOSSA」のCD『東京BOSSA』がAmazonのワールドミュージック部門で1位を獲得し、名古屋、東京、大阪でCD発売ライブを行った。美しい音色と音楽センスが評価され、他のアーティストのライブやレコーディングにも多数参加している。2014年にはロサンゼルスの名門スタジオVillage Studioで行われた、アメリカで活躍中の作曲家Takeshi Furukawaのレコーディングにも参加した。テレビや映像音楽の分野でも活躍の場を広げている。

## 山本裕之（ベース） Hiroyuki Yamamoto

高校在学中にノイズ、プログレ、インプロ、ジャズ等の音楽に触れ感銘を受け、エレキベースを始める。その後両親の影響で少しずつジャズに転倒。ウッドベースを齊藤誠に師事。ドラマーの力武誠、ピアニストの荒武裕一郎のバンドにベーシストとして抜擢された事をきっかけに様々なジャズバンド、セッションを経験する。2012年、キーボード奏者・作曲家の小林岳五郎と共にクラブジャズユニット「ROOM56」を結成し、アルバム『Hit the Devil』をリリース。イギリスやイタリアのレーベルに楽曲提供した他、Gregory Porterのremix盤アナログレコードに『Hit the Devil』が収録された。ジャンルを問わず多数のライブにサポートベーシストとして出演しており、世界的なジャズピアニスト山中千尋の国内ツアー、ライブにも2017年より参加している。

## 【楽器や曲目について】

ビブラフォンは、金属製の音板をもつ鍵盤打楽器。木琴のように、丸いヘッドがついたバチ(マレット)で音板を叩いて演奏します。電気モーターが組み込まれており、ロングトーンや美しいビブラートを奏でることが出来るのが特徴です。

### On the Sunny Side of the Street

題名の意味は「明るい表通りで」。1930年に作られ、ブロードウェイのミュージカルの中で発表された曲ですが、その後、ジャズのスタンダード・ナンバーとなりました。ルイ・アームストロングやベニー・グッドマンといったジャズの巨匠たちが多くの録音を残しています。2021年から2022年にかけて放送されたNHKの連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」では、この曲が物語の重要な役割を果たしていました。

### Take Five

アメリカのサクソフォン奏者ポール・デズモンドが作曲し、1959年、デイヴ・ブルーベック・カルテットのアルバムで発表した作品。世界中で演奏され、ジャズの名曲として知られています。タイトルのテイク・ファイブ (Take Five) は、「5拍子で」「5分休憩しよう」など、様々な解釈ができるそうですが、その題名どおり、5拍子の曲です。1980年代後半に栄養ドリンク・アリナミンVのCMに使われ、毎日のようにテレビから流れていましたので、覚えている方も多いことと思います。

### ルパン3世のテーマ

モンキー・パンチ原作のアニメ「ルパン三世」のテーマ曲として、日本で最も有名なアニメ主題曲の一つ。作曲したのはジャズ・ピアニストでもある大野雄二。実は最初にテレビ放送(1971年)された「ルパン三世」の主題歌は山下毅雄が作曲した別の曲でした。(山下の曲も画期的なアニメソングです。機会があればぜひ聴いてみてください。)その後、1977年の第2シリーズのために作られたのが、大野によるこのテーマ曲です。以後、ルパン三世の代名詞とも言える存在になりました。アニメと言えば子どものためのものとされていた時代に、「ルパン三世」は初めての大人向けのアニメとして大ヒットしました。ジャズが持つカッコよさや大人の雰囲気はルパン三世のイメージをさらにアップさせたと言えます。

この他にも、ジャズのスタンダード・ナンバーや、今回のトリオならではの曲を演奏します。ジャズはクラシック音楽のように、全ての音符が決められている音楽ではありません。演奏のたびに変わっていきます。まさしくライブでしか味わえない即興や自由な演奏がジャズの醍醐味。どうぞご期待下さい！